

2027年国際園芸博覧会協会

設立趣意

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催されるものです。今回開催を目指す最高位A1クラスの国際園芸博覧会は、我が国では1990年の「国際花と緑の博覧会（大阪花の万博）」に次いで2回目の開催となります。

神奈川県横浜市における国際園芸博覧会は、2027年に旧上瀬谷通信施設において開催することについて、2020年3月に国際園芸家協会(AIPH)から正式承認されました。そして、博覧会国際事務局(BIE)の認定に向けて、国際博覧会に関する条約上の手続きを進めることが、2021年6月に閣議了解されました。

本国際園芸博覧会のテーマは、「幸せを創る明日の風景 ～Scenery of The Future for Happiness」です。気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的としています。

このような考えを基本に、国・関係地方公共団体・民間が協力して、本博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献するとともに、本博覧会の目的を達成するため「2027年国際園芸博覧会協会」を設立するものです。

2021年11月15日